

門別競馬場きゅう舎建設用地整備工事
(給排水等)

特 記 仕 様 書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

1. 総則

1-1. 工事の名称

門別競馬場きゅう舎建設用地整備工事（給排水等）

1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）

TEL 01456-2-2501

FAX 01456-2-2503

理事長 大鷹千秋

1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-5 ほか

1-4. 工事の目的

当該箇所において、きゅう舎新築工事に必要な建設用地整備工事（給排水設備等）を実施する。

1-5. 概要

本工事は、森林法第10条の2項第1項による林地開発行為の許可及び都市計画法第29条第1項の開発行為許可での工事であり、何れも許可済である。

本工事の着手時には、同敷地内で別途敷地造成工事が着手されている予定であり、今後、建築工事等関連する別途工事が施工される予定である。これらの別途工事施工者と十分に打合せ等を行い、相互に協力し円滑に工事を進捗させること。本工事施工者は、関連する工事施工者間の工事打合せ等に参加し、工事調整に協力すること。

別途発注される建築工事に関して、建築承認申請書の資料作成に協力すること。

また、本工事では、以下の工種における工事を実施する。

既存区域屋外給水設備	1 式
既存区域屋外排水設備	1 式
新設区域屋外給水設備	1 式
新設区域屋内給水設備	1 式
新設区域屋外排水設備	1 式

1-6. 工期

令和7年1月31日まで とする。

2. 適用

2-1. 適用基準（すべて最新版に準拠すること）

- 「北海道建設部土木工事共通仕様書」
- 「北海道建設部土木工事施工管理基準」
- 「写真管理基準」
- 「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」
- 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

3. 特記仕様書

3-1. 共通事項

建設地の気候等を鑑み、風雪時や寒冷期の凍結や機能障害などを考慮すること。

給水管と排水管が平行して埋設される場合は、原則として、両排水管の水平実間隔を500 mm以上とし、且つ、給水管は排水管の上方に埋設するものとする。また、両配管が交差する場合も給水管は排水管の上方に埋設すること。尚、継手箇所は必要に応じて増し掘りを行うこと。

関連工事との工事区分については設計図を参照し施工すること。

3-2. 既存区域屋外給水設備

工事着手前に水道事業者へ申請を行うこと。

給水管敷設工事着手前に工事監督員及び発注者と施工時期、掘削範囲、工法等を充分協議し承諾を得て進めること。

埋設給水本管の分岐、曲り部等は、必要に応じて衝撃防護措置を行うこと。

屋外地中配管上には、埋設管掘削埋戻要領図を参考に埋設標識テープを設置すること。

配管付属品・弁類の取り付け位置は承諾を得るものとする。

3-3. 既存区域屋外排水設備

排水管敷設工事着手前に工事監督員及び発注者と施工時期、掘削範囲、工法等を充分協議し承諾を得て進めること。

埋設排水本管の分岐、曲り部等は、必要に応じて衝撃防護措置を行うこと。

マンホールの位置、深さ等に当たっては、設計図書に記された事項を基に測量を実施し、埋設物、接続管渠の流入流出方向に注意し、施工性、安全面についても配慮して決定すること。また、マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配を路面に合致するように仕上げること。

据付に当たり、衝撃を与えない様に丁寧に据付け、内面を一致させ垂直に据え付けること。また、後日漏水することの無いよう据付け前に接合面を清掃し、市水シール材等の処置を行うこと。

3-4. 新設区域屋外給水設備

工事着手前に水道事業者へ申請を行うこと。

地中埋設の鋼管類には、防食材による防食処理を行うこと。

埋設給水本管の分岐、曲り部等は、必要に応じて衝撃防護措置を行うこと。

屋外地中配管上には、埋設管掘削埋戻要領図を参考に埋設標識テープを設置すること。

配管付属品・弁類の取り付け位置は承諾を得るものとする。

3-5. 新設区域屋内給水設備

工事着手前に水道事業者へ申請を行うこと。

ポンプユニットは、基礎上に水平になるように据え付けるほか、転倒防止措置を講ずること。

地中埋設の鋼管類には、防食材による防食処理を行うこと。

埋設給水本管の分岐、曲り部等は、必要に応じて衝撃防護措置を行うこと。

屋外地中配管上には、埋設管掘削埋戻要領図を参考に埋設標識テープを設置すること。

配管付属品・弁類の取り付け位置は承諾を得るものとする。

3-6. 新設区域屋外排水設備

埋設排水本管の分岐、曲り部等は、必要に応じて衝撃防護措置を行うこと。

硬質塩化ビニル製マンホールは、防護ハット基礎、凍上抑制防止資材の設置を行うこと。

盛土範囲の排水設置部分で掘削深度 1.5m 以上となる部分は、前述した敷地造成工事施工者と工程調整を行い 1.5m 以内で配管敷設を行うこと。

3-7. 使用資材について

本工事に使用する製品及び材料は、設計上の規格・グレード等を標準仕様として示している。

3-8. その他

(1) 現場事務所・資材置場・駐車場等

工事施工にあたり門別競馬場敷地内には、現場事務所・資材置場・駐車場等を設置するスペースがないため、競馬場周辺かつ競馬開催に影響のない場所にスペースを確保すること。
なお、工事総合定例の開催場所は公社が準備するものとする。

(2) 工事期間中の安全対策

競馬開催日には、総合的な安全対策を行うこと。

(3) 工程計画に関する注意事項

工事施工にあたっては、競馬開催の有無にかかわらず 1 年を通して、競走馬への配慮が必要です。特に音を伴う工事については、事前に監督員と十分な協議を行い競馬や工事に影響がないように調整すること。

(4) 設計変更への対応

設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする。

計画位置図



